



中沖キッズ地域もりあげ隊 博報賞（教育活性化部門）を受賞！

児童、生徒の豊かな人間性の育成に努めている学校などに贈られる第43回博報賞（博報児童教育振興会主催）の教育活性化部門で本町中沖小校区の小中学生で組織する『中沖キッズ地域もりあげ隊』が選ばれました。

もりあげ隊は、地域を元気づけようと平成22年7月に発足。清掃や花植え活動などをはじめ、中沖棒踊りの伝承活動も行っています。

また、昨年は約20年ぶりに夏祭りを復活し、地域の活性化に大きく貢献しました。

島子校長は「子どもたちの積極的な活動が地域に元気を与えてくれました。」と話されました。



▲受賞報告に訪れた中沖小学校の島子孝一校長（写真中央）



人権について考えよう 人権フェスタ2012

人権フェスタ2012が12月2日（日）、町中央公民館において開催されました。

当日は、人権についての作文や標語の表彰、ハンセン病に関する講演などが行われ、約250人が参加しました。

講演では、ハンセン病元患者の上野正子さん、NPO法人共に歩む会代表の松下徳二さんの2名が講演を行いました。

上野さんは、これまでのハンセン病に対する誤った認識による差別や、ハンセン病を患った方々とその家族の苦勞について触れ「ハンセン病のことをもっと知ってほしい。」と訴えました。



▲ハンセン病について語る元患者の上野正子さん



地域に賑わいを！ 花いっぱい事業

持留地域づくり協議会は、11月18日（日）、持留地区農業構造改善センターにおいて『花いっぱい事業』の一環として芝桜の植え付け作業を行いました。

この植え付け作業は、公民分館や自治公民館、NPOなどの様々な団体が地域の課題解決を図るための事業に対して町が助成を行う『地域づくり活動支援事業補助金』を活用したものです。

同協議会の岡元修一さんは、「今後、芝桜の植付面積を増やしていきながら、地域の賑わいの場にしていきたい。最終的にはさくら祭りの実施を計画したい。」と話されました。



▲芝桜の植え付けを行った持留地域づくり協議会のみなさん